

・1 捕獲

《冒頭3秒沈黙》

※SE…チャイム

※SE…ドアの音

お疲れ様です。

あ、ごめんなさい、驚かせちゃいました？。

ふふ。

随分集中してたみたいで。

それにしても…。

デッサン、上手くなりましたね。

ええ、初心者から始めてこれはすごいですよ。

この調子なら、私なんてあつという間に追い越しちゃいますね。

《一呼吸置いて》

ところで…この間の話、考えてくれました？

ヌードモデルの件。

勿論、本気ですよ。

昔から、男性の体って興味があつたので。

《照れながら》

あらやだ、何だかすごくえつちな事を言っていますね。

でも描いてみたかったのは本当で。

ほら、男性の体ってごつごつとして、筋肉質で、女性と全然違いますから。知的好奇心、って奴です。

だけど私、男性の知り合いっていませんし。

…誰にでも頼めるわけではありませんから。

勿論、無理にとは言いません。

けど…どう、でしょうか？

《3秒沈黙》

本当ですか…！？

ありがとうございます！

ああうれしい…！

では早速始めましょう！

ええ今からです！

気が変わってしまわない内に。

あ、でも…ここは廊下から丸見えですし。

準備室、行きましょうか。

さ、早く早く。

《含みを持たせた笑み》

ふふふ。

《5秒沈黙》

※SE…カーテンを閉める音。

ふふ、そんなに恥ずかしがらないでください。

ほら、美大ではヌードモデルなんてよくある話ですし。  
だから、ね？

※SE…衣擦れ

《3秒沈黙》

あら…あらあら。

…あ、すみません。茶化すつもりではなくて。

ただ、意外と勢いよく脱がれるので。  
男らしいなと思ったんです。

…本当ですよ？

※S E…衣擦れ

え？ いいえ、そんな。

引き締まっっていてとても素敵だと思います。

それに…もっと細身と思ってましたが。

とても男性的で。

その…。

見惚れてしまいます。

※S E…衣擦れ

…ええ、ヌード、ですの。

全部。

脱いで下さい。

《二呼吸おいて》

どうされました？

あとパンツだけ…。

…あ。

そういう事ですか…。

ふ、ふふふ。

興奮、しちゃったんですか？

《一呼吸おいて》

いえ、そんな。

謝らないでください。

何も悪い事はしてないですし。

それに…。

つまりは、私に性的な魅力を感じている、という事ですよね？

嬉しいです。

そういう風に見て頂けて。

《3秒沈黙》

あの、良かったら。

その大きくなった物…。

触ってもよろしいでしょうか？

《一呼吸おいて》

ほら、描くのに質感って大事ですから。

私は…今まで男性のを触れた事ありませんので。

《3秒沈黙》

ふふっ。

いえいえ。こちらこそ。

よろしくお願いいたします。

では…パンツ

脱がせちゃいますね。

※SE…衣擦れ

きやつ…！

あ、いえ…予想よりも大きかったので。

今が…勃起、してる状態ですよ？  
こんなに大きくなるんですか…。

あ、先端から何かが…。

※S E…水音

あ、すみません、痛かったですか？  
びくって動きましたけど。

違う？

気持ちよかった…。

ああ…こうやって、ヌルヌルを広げられるのが、ですか？

※S E…手コキ←

これは精子…とは違いますよね？  
…我慢汁？

《一呼吸おいて》

なるほど…。これでおちんちんをぬるぬるにして。

セックスの準備をしているわけですね。

女性の中にずっと入るように。

そう考えると人間の体ってエッチにできてますよね。

最適化されてるというか。

子供を作るために細かいところまで行き届いてるんだな、って。

《一呼吸おいて》

あら：なんだか随分と余裕がなくなっていますけど。

そんなに気持ち良いのですか？

手でゆっくり刺激してるだけなのに。

やばい？

すごくいい？

ふふふ。

いやらしい人。

腰、ぴくぴく動かして。

我慢汁もたらだら出しちゃって…。

それに、先っぽも：こんなに膨らませて。

《匂いを嗅ぐ》

すんすん。

濃い香り…。

いつからこんなに大きくされていたんですか？  
服を脱いだ時にはもうビンビンでしたよね。

《一呼吸おいて》

《微笑みながら》

私が話しかけた時から、ですか？

あらあら：ふふふ。

正直な方ですね。

もしかして、私という時はいつも…。

おちんちん。

大きくされてます？

《一呼吸おいて》

あらあらあらあら。

いけないですね。

あ、でも…そういえば。

私と話している時も。

視線はしょっちゅう胸元や足にいつてました、よね？

《笑いながら》

勿論、気づいてましたよ。

そういう視線って、見られてる本人には分かる物ですから。

つまり…。

私が絵を教えている間も。

あなたは頭の中で私を犯していた、って事ですか。

《一呼吸おいて》

いえ、謝らないでください。

不快になんて思っていないです。

むしろ…もつと見ても良かったんですよ？

私は…あなたにエッチな目で見て貰えて、とても嬉しいんです。  
女としての喜び、という物でしょうか。

ふふ。

エッチなのはお互い様、ですね。

《一呼吸おいて》

はい？

いきそう？

精子、出したんですか？

※SE..手コキ→

まだダメです。

まだ。

まだまだまだ。

だつて…。

始まったばかりじゃないですか。

《一呼吸おいて》

ああ……。

素敵。

その顔。

可愛い。

ねえ。

私、あなたに一つ謝らないといけないんです。

ヌードモデルの件。

確かに絵を描きたい気持ちはあるんですけど。

それよりも。

\* \* \* \* \*

囁き ←

\* \* \* \* \*

《耳舐め》

あ……ん……くちゅ……れろ……んちゅ……ん……ちゅ……あむ……れろ……ちゅ……れろ……あん……ん……れろれろ……ろ……ろ……

こういう事をしてみたかったです。

※SE..手コキ←



あなたを裸にして。

おちんちんをいじめて。

沢山気持ちよくして。

そしたらあなたは、一体どんな顔をするのかなって。

そんなエッチな妄想をずっと…。

それこそあなたが入部した時からしていました。

あなたが私を目で犯していたように。

私もまた、妄想の中であなたをいじめてたんです。

《耳舐め》

ちゅ…あん…む…ちゅ…あむ…んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…あん。

ここの所は特に…あなたの事ばかり考えていました。

身も心もぐちよぐちよにして。

私の物にしたい、って。

《耳舐め》

んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…れろれろれろ…じゅる。

ねえ。

私を脱がしたくないですか？

見たいですよね？

私の裸。

ワイシャツのボタン。

外してください。

※SE…手コキ→

[illegible]

※  
S  
E  
..  
衣擦れ

 $\mathbb{S}^2$ 

手、震えてますよ？

もしかして、女性の服を脱がすのは初めて？

《呼吸おいて》

…まあ、そうなんですか！

じゃあ今までエッチな事はした事ないんですね。

ふふ、嬉しい…。

《呼吸おいて》

え？ 私……ですか？

勿論、私も初めてです。

《笑いながら》

本当ですよ。

《呼吸おいて》

…なんだったら。

体の隅々まで調べてもらっているんですよ？

あなたのその：大きなおちんちんを。

私の中に…おまんこに入れてみたら、何か分かるんじゃないですか？

…なんて。

५५५०.

さ、ボタンは外れましたし。  
そのまま、脱がしてください。

※S E…衣擦れ

《一呼吸おいて》

ん…。

そんなじつと見られと、その…。  
いえ、あまり可愛い下着ではないので。  
お見苦しいかと…。

そんな事ない？

似合ってる？

ふふ、ありがとうございます。

あ、下着はあれですが…。  
おっぱいの大きさにはそれなりに自信があるんです。  
ほら、寄せてあげると…。

※S E…衣擦れ

ね？

カップ数だけなら、アイドルにも負けないくらいです。

…顔？

いえそんな…アイドル並みだなんて。  
そう言って下さるのは嬉しいですが、照れちゃいます。  
でも…ありがとうございます。

《囁き←》

あなた好みのお顔、ですか？

犯したい、エッチしたい、って思える顔？

《→》

ふふふ♪

さ。

まだスカートが残っていますよ。

そう、そのチャックを下ろして…。

※SE…衣擦れ

※SE…チャックを下ろす

靴下は…そのまま？

そっちの方が良いんですか？

ん、もう。

えっち。

あの…見てるだけ、ですか？

触ったり…しません？

※SE…衣擦れ

ん…。

優しい…。

あなたらしい、ですね。

こんな時も、紳士的で。

そのまま。

撫でてください…んっ。

はう…んう。

あ、うう…。

おっぱい、どうです？

…柔らかい？

あ、んっ…はう…あ…ん。

そう……下から包み込むように。  
上手……。

気持ちいいです…。

《一呼吸おいて》

ねえ。

今の私は…魅力的、ですか？

犯したいつて。

思ってます？

### 《3秒沈默》

本当？

じゃあ。

おっぱいは？

好きですか？

《微笑みながら》

50—17

ちやんと言ってください。

おっぱい、好き？

《一呼吸おいて》

[illegible]
$$\begin{array}{c} h \\ | \\ ? \end{array}$$

どれくらい？

大好き？

だーい、ちゅき？  
ふふふふ。

大きい方が好き？  
それとも小さい方？

そう、おつきい方が好きなんですか。

変態さんですね。  
ふふ。

《一呼吸おいて》

ねえ。

一個、言っていいです？

いえ…その。

ちよつと言にくい事ですが。

実は私、前、見ちゃったです。

ほら、プールの授業が始まったばかりの時。

私が委員会で抜けた時があつたじゃないですか。  
美術室に、荷物、置いたまま。

あの日、あなた、私の水着を嗅ぎながら。

おちんちん。

しごいてましたよね？

ええ。しつかり見えました。

不用心ですよ？

あんな外から見える所で。

私じゃなかったら、大事になっちゃいます。

ねえ…。

そんなに我慢できなかったんですか？

誰もいない美術室で、私の水着が目の前にあつて。  
良心と戦つて…。

それで…負けちゃった？

《笑いながら》

あら…あらあら。

うん？ なんです？

急に声小さくなったみたいですが。

ほら、ちゃんとごめんなさいした方が良いんじゃないですか？

ね？

へ、ん、た、い、さ、ん。

《一呼吸おいて》

ふ、ふふふふふふ。

良く言えました。

ねえ。

教えてもらえませんか？

※SE…手コキ←

あの時、どういう妄想をしていたのか。

私の濡れたスク水を嗅いで。

こーやっておちんちんしごきながら。

私は、どんな風に犯されていたんですか？

《一呼吸おいて》

ふうん…。

ああ…。

へえ…。

耳舐め、ですか。

《耳舐め》

あん…れろ…んっ…ちゅ…くちゅ…れろれろ…んはあ…ちゅう…れろ…ん…あむ…あん。

どうしたんですか？

続けてください。

私を押し倒して。

服を脱がして…。

それで？

《耳舐め》

ん…はあ…んっんっ…れろれろれろ…ちゅば…ああむ…はあ…ん…ちゅ…れろ…んっ。

キス？

無理やり舌をねじ込んで…。

そう…。

《キス 無理やり舌をねじ込むように》

ん…ちゅ…れろ…んちゅ…ちゅ…ん…あ…ん…。

こんな感じですか？

その後は？

《耳舐め》

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれろ…。

両手を押さえつけて…。

脚を広げて…。



下着をはぎ取って、おちんちんを無理やりねじ込んで…。

ふふっ。

かわいい顔して、そんなひどい妄想してたんですね。

それで、続きは？

《耳舐め》

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれろ…。

へえ…。

一杯突いてるうちに私も感じて。

あなたも我慢できなくなつて。

射精、したんですか。

ゴムもつけずに。

中に精子を。

私のお口で掃除させる？

そして…

また腰を振って。

《二呼吸おいて》

二回も犯してたんですね。

こんな立派なおちんちんで。

欲望のままに突いて…。

ふふふ。

ダメですよ？

そんな事されたら。

私、あなた専用の性処理係に落とされちゃいます。

女性は…強い男性の、セックスしたい、孕ませたいっていう欲望には…勝てないようにできてるんです。

私は、まだまだあなたをいじめたいんです。  
こんな風に…。

《耳舐め》

あん…れろ…んっ…ちゅ…くちゅ…れろれろ…んはあ…ちゅう…れろ…ん…あむ…あん。

ねえ。

私は、あなたの妄想で、どれだけ犯されました？  
おちんちんで何度も何度もおまんこかき回されて。

何回、精子をびゅっぴゅしたんですか？

《一呼吸おいて》

数えきれないほど？  
そうなんですか。

ねえ。  
します？

《笑いながら》  
何がつて。

今まで妄想の中でしてきた事。

私を押し倒して。  
脚をこじ開けて。  
あなたの大きなおちんちん。  
入れちゃいます？

そしてそのまま。  
腰をパンパンして。

中出し。

※S E…手コキ→

\*\*\*\*\*囁き→\*\*\*\*\*

※S E…衣擦れ

きゃ…！

いきなり…。

もう、がつつきすぎですよ。

《二呼吸おいて》

《笑いながら》

そこで謝ってしまうのがあなたらしいですね。

いえ…素敵だと思います。

※S E…衣擦れ

あ、ちょ…。

ん…あ。

ぐりぐり、おまんこに。

おちんちん、押し付けて…。

だめ、ですって。

ほら、慌てない慌てない。

まだ私パンツも脱いでないです…。

※S E…衣擦れ

ん…パンツの、上から、ひや、あう…あ、ん…あうう、ひや、あんっ…や、あ、あ…。

《笑いながら》

ちよつと、もう。

それじゃ私の体でオナニーしてるのと変わらないですよ。

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

お互い初めてなんですから。

ゆっくり、しましょう。

もし暴発しちゃったら。

大変じゃないですか。

どうか、私に任せてください。

…うん、いい子。

それじゃ、おちんちん、触りますね。

※SE…水音

ふふ。

熱い。

それにギンギン…。

※SE…手コキ←

ねえ。

実は…私、今日、安全日なんです。

中に出しても大丈夫な日。

精子、おまんこにびゅっびゅしてもいいんですよ。

だから、生でしちゃいましょうか。

まあ元々ゴムなんてないですけど。

《笑いながら》

あ、またビクビクしてた。

ねえ。

私の事、好き？

いえ、さっき聞いたのはおっぱいが好きかどうかですから。  
今度は、私自身を好きかどうか。  
ねえ、どうです？

《一呼吸おいて》

本当に？

大好き？

《一呼吸おいて》

ふふふ。

愛してるって。

…いえ、そんな。  
とても…すごく。  
嬉しいです♡

ねえ。

そんなあなたに。  
お願いがあるんです。

《一呼吸おいて》

えつとですね。  
それは…。

※  
S  
E  
..  
金属音

お、あ、ず、け。

[illegible]

ああ……そうですね。

おちんちん、重たくなっちゃいましたね。

これ、知ってます？

貞操帯っていうんですけど。

つまり、おちんちんを閉じ込めて。

オナニーもセックスも出来ません！　つてしちやう物です。

あ、生活する上では困らないので安心してください。

トイレ用の穴も空いてますし。

お風呂も、まあプールの授業も大丈夫だと思います。

え？

どうしてこんな事するのか、ですか？

それはですね……。

《呼吸おいて》

私、あなたを管理したいんです。

いつも、妄想してたんです。

あなたを自分のものにしたい。

もつともつと、可愛い顔を見てみたいって。

《呼吸おいて》

[illegible]

そう。。。

まさに今浮かべている、そんな顔。

そういう可愛い顔、私、大好きなんです。

お辛いですか？

今すぐ外して欲しいですか？

ねえ。

無理強いはしまんよ？

もし本当に嫌だったら今すぐにも外します。

けど、ですね。

少しでも、私に管理されてもいいって言うんだったら。

一カ月。

頑張りませんか？

そしたら。

生でエッチ、させてあげます。

…  
いいえ。

生エツチ、させてください。

あなた好みの格好で。

あなたの望むメスとして。

処女を、捧げたいんです。

《呼吸おいて》

ええ、分かっています。私が異常な事言ってるって。

でもあなたを愛おしいと思っている、この気持ちは純粋なんです。

どうか、私の愛情を受け取ってもらえませんか？

### 《3 秒沈黙》

ああ：ありがとうございます。

きつとあなたならそう言ってくれると思いました。

あ。

言うまでもないですけど。

このことは、皆には内緒、ですよ？

ええ、私たち二人だけの秘密です。

あ、ちなみに。

貞操帯の鍵はここに。

※S E…衣擦れ

いつもネックレスとしてぶら下げておくので、ご安心を。  
決してなくしたりしませんから。

ふふふ。

長いひと月になりそうですね。



2 愛玩

《冒頭3秒沈黙》

\*\*\*\*\*体を触られて感じている風に←\*\*\*\*\*

※SE…衣擦れ

あ、ん…あうう、ひゃ、あんっ…や、あ、あ…。

《笑いながら》

ちよつともう、鼻息荒すぎです。

誰かにばれちゃいますよ？

こんな所でエッチな触りっこしてるって。

まあ、昼休みの美術室なんて、先生も来ないですから…ひやつ、あう…。

大丈夫、だと、思いますけど…

全く…さつきまであんなに恥ずかしがっていたのに。

おっぱい、触り始めたら。

すぐ夢中になっちゃったって。

ええ、いくらでも触ってください。

私も、申し訳ないと、んっ…思ってたんです。

一か月もオナニー禁止なのに、なにもご褒美が無いだなんて。

だから、こうやって、触るだけだったら、いくらでも、させてあげたいなって。

私も、あなたに触られるの好きですし…♡

まあ、お射精は一か月後なので。

ムラムラはたまる一方なんでしょうけど。

ふふふ。

どうです？

やつぱり、お辛い、ですか？

貞操帯つけて、もう、一週間経ちましたけど。

ん…。あ、ひゃう…。

なる、ほど…。

辛さより、私とこういう関係になれた嬉しさの方が大きい、ですか…。

ふうん…。

あなた、結構、マゾさん、ですね。

だって…射精する権利を、取り上げられたのに…ひやつ…んう。  
怒るところか、喜ぶなんて…。

でも…んっ、私も、そっちの方が嬉しいです。

それは…だって。

私もあなたが嫌がる事をしたいわけでは、ないですから…はう…んっ。

…ええ、そうですよ。

これは、命令じゃなくて、お互いの約束、ですから。

どっちかが、やーめた、って言ったら。

それまで、ですよ？

貞操帯外して…。

あなたはきつと、すぐに、おちんちんしこしこしちゃって…。  
それでおしまい。

あ、その時はもちろん、生エッチも無しですけど。

ふふふ。

あっ、んう…ひゃ、あう…んっ。

ええ、そんな感じで、触ってください。

おっぱいの外側から…全体を…んう…包み込むように、ゆっくり、攻めていって。  
乳首は、すぐに触らず…ひや、あつ…指先で、周りをくるくる撫でて…。

あつ、んう…やつ、あ…。

最後に、乳首を、焦らした分…少しか強めに…！

ひやつ、あ、んう…あ、あ、あ…んっ…！

そう、です…とても、気持ちいい、です…。

ふふ…。制服の上から、なのに。

私の乳首の場所、分かるんですか？

絵だけじゃなくて。

エッチな事も、呑み込みが早いんですね。

《一呼吸おいて》

ねえ、下も、触っていただけませんか？

もう、おまんこぐちよぐちよなんです。

※SE…衣擦れ

※SE…水音←

はう…。

ふふふ、そう…おっぱいを触る時と、同じ、です。

最初は…足の付け根辺りから、ゆっくり触っていって…。  
徐々に徐々に、割れ目の所に…。

ん…あうう…ひや、あんっ、あ、んう…ひやう…。

ええ、パンツの隙間から、指、入れちゃってください。  
それで割れ目の上を…ひやう…！

んっ…あつ…そう、ゆっくり、指の真ん中で撫でて…。

何度も何度も…。

丁寧、丁寧に…んっ…。

クリトリス、分かりますか…？

割れ目の上あたり…あ、んう…そこ…！

まだ、皮に包まれてるので…、剥いて…。

あ、あ、んう…！　そこ…そう…！

ぐりぐりって、指の、柔らかい所で。

揉むように、押してください…！

んあ…はっ…はあ…はううつ…んっ…んふっ…ふっ…ううつ…

本当に、初めて、ですか？

んう…はう…。

だって、指、えっちです…。

ふふっ、勿論。

すうつごく…。

気持ちいいです♡

ねえ…。

そろそろ、指…。

入れて？

※SE…水音

ひゃっ…あっ…んう…あ、ん…！

※SE…手マン←

あんっ…あ…！

いえ、そのまま…。

ゆっくり…ひやう…あっ、んう…入れて…！

んああっ…ひや、ああ、ああああっ、くふっ…はあっ…はあ…。

あ、そこ…！

入口当たりの、ざらざらした所。

そこを、ゆっくり、なでなでしてください…。

うあ…はっ…ん、うううう…あっ…んんっ…くふっ。

そう、です…そう…。

強くしないで、いいので。

優しく、撫でて…！

はっ…あ、あっ…んっ…く、ふっ…やあっ…あ…。

気持ちいい…！

んあ…はっ…はあ…はううっ…んっ…んふっ…ふっ…ううっ…

そのまま…！ ひやう…いい、そこ…！

ねえ、キス…キス、して、ください…！

《キス》

んー…ちゅううう…あん…くちゅ…ちゅ…はあ…ん…ちゅううう…んう…くちゅ…んっ。

ふふふ。

唾、垂れ、ちゃった。

ひやっ…あんっ、あう…あ、あ、んうう…あんっ、あ。

ああ、すごい…！

いく、いきます…！

そのまま、そのまま、苛めて…。

もっと、もっと激しく…！

ひやつ…あ、んう…あ、あ、んうう…や、あう…。

いつちやう、いく…！

あつあつ、だめ、あ、や…ひゃ…！ あんつ、あ、あ、あ…！

いくうう…！

\*\*\*\*\*体を触られて感じている風に→\*\*\*\*\*

※SE…手マン→

…っ！

…ん、あ、あ…。

ん、あう…んうう…。

す、すごい…。

ふふふ。

脚、ガクガクになっちゃった…♪

※SE…チャイム

あ…。

昼休み、終わってしまいました…。

お弁当食べ損ねちゃいましたね。

エッチな事していると、あつという間に時間が過ぎていきます。

あ、お先に教室出ちゃってください。

一緒だと、誰かに見られちゃうかもですし。

…すみません。

私だけ気持ちよくなっちゃって。

ねえ。

あなたさえ良ければ。

放課後、またします？

ふふふ。

ええ、勿論。

私も、楽しみにしてます。

さ、早く行かないと授業遅れちゃいますよ。

\*\*\*\*\*真美←\*\*\*\*\*

※SE…教室の引き戸

…あれ？

あ、ここにいたんだ。

いや、ほら、君、昼休み始まったらすぐどこか行っちゃったじゃん？  
一緒にご飯食べたかったのに―って、横山君、言ってたよ。

あ、じゃなくて…。

ハルちゃん…いる？

誰って…君の先輩だよ。

如月春奈。

…いない？

本当―？　なんか目、泳いでるけど…。

《一呼吸おいて》

え？　用事？

ああ…教科書を…。

いや、私、ハルちゃんとお隣さんでさ。

お母さん同士が仲良くて、私達も昔から遊んでて。

で、まあ。

たまに忘れものとか頼まれて。

今日はなんか物理の課題？

昼休みに渡せばいいやーって思ったんだけど教室居ないし。  
メッセも既読つかないしさ。

※SE…チャイム

あ、やつば。

五限目はじまっちゃう。

課題？ もう、諦める！ どこにもいないハルちゃんが悪い！

だから、ほら。

一緒教室帰ろ！

《ぼそつと呟くように←》

えへへ。

ラッキー

《→》

\*\*\*\*\*真美→\*\*\*\*\*

あらあら。

ふふふふ。



・3 躑け

《冒頭3秒沈黙》

※SE…扉を開く音

お待たせしました。

すみません、うちジュースとかなくて普通の麦茶なんですけど。

《一呼吸おいて》

あら、どうしました？

そんなにそわそわされて。

あ、もしかして、女の子の部屋は初めてですか？

ふふ、そう…。

いえ、いいんですよ、好きに見てもらって。

でも…なんだかすみません。

いえだって。

もつと…こう、色んなものがあると思ってたんじゃないですか？

例えば…ほら。

《囁き》

拘束したり、苛めたりする道具とか。

ふふふ。

でも、案外普通でしょう？

あ、本とか読めます？ 小説でも漫画でも、流行ったのは結構持ってるんですよ？

それにゲームも。こう見えて色々やつたりするんです。

ええ、育成シミュレーションが特に好きで。

あ、ちなみに…。

そのカーテンの向こう側は真美ちゃんのお部屋です。

ええ、お隣さんですから。

ホントすぐ向かい側。

手を伸ばしたら届いちやうくらいに近くて。

小さい頃は窓越しに行き来もしてたくらいなんです。

…ってすみません、関係ない話を。

それで…。

今日来てもらったのは、ちょっとご相談したい事がありまして。

※SE…足音

もう二週間になりますよね。

貞操帯。

毎日毎日お辛いでしょに。

頑張ってくれていて…私、本当に嬉しいんです。

それで…まだ気が早いかもしれませんが。

初めての時の下着を…一緒に決めてもらいたくて。

ほら、最初はあまり可愛い下着をつけてなかったの。

せめて、初エッチの時はあなたの好みに合わせたいと思って。

でも…下着って色だけじゃなくて形も色々ありますし。

色々悩んだんですけど、持っている中から選んでもらうのが一番かと。

《笑いながら》

すみません優柔不断で。

※SE…タンスを開ける音

これとかは部屋着用の、ワイヤーが無いタイプで。

こつちが刺繍とかもある割とおしゃれな奴ですね。

あ、これはスリップと言って、暑い日はこれだけで寝たりするんです。

私としては…やっぱりこういうレースが入っているものが良いかなと思うんです。  
可愛くて…それにえっちで、ほら、胸も寄せれるんでそういう意味でも。

どれか気になったの、あります？

《一呼吸おいて》

あら…あらあら。

固まっちゃって、どうしたんです？

もしかして…。

照れてます？

可笑しな方ですね。

毎日あれだけ私の体を触っているというのに。  
下着で、そんなに顔赤くしちゃうんですか？

お恥ずかしい所申し訳ないですが。

この中から選んでほしいんです。

《囁き》

あなたの中出し童貞卒業に相応しい衣装を。

ふふふ。

《一呼吸おいて》

あら…あらあらあら…まあ。

それは…。

ふふ、いえ。

是非手に取って広げてみてください。

※SE…衣擦れ

分かります…よね。

それ、スク水です。

ええ、一緒にいれていたんですが…。

ふふふ。

ホント…あなたは変態さんですね。

そんなに、スク水を着た私を犯したいんですか？

《一呼吸おいて》

いえ、そんな。

あなたがお望みでしたら。

喜んで着させてもらいます♡

《一呼吸おいて》

でも…残念ですね。

いえ、折角なら下着姿も見te欲しかったので。

こういう時じゃないと、誰かに見せる事なんてないじゃないですか。

あ…そうだ。

ちなみに…なんですけど。

※SE…衣擦れ

今着てるのは…こんな感じなんです。

これ高いんですよ？ ショーツにもブラにも花の刺繍があつて。  
肌触りもすごく良いんです。

ほら。

お手を…。

※S E…衣擦れ

ね？

さらさらしてて、触っていて気持ちいいでしょう？  
形も綺麗に見えるんで…こうやって前かがみになると。

《一呼吸おいて》

おっぱい、大きく見えるでしょ。

《一呼吸おいて》

あ、そうだ…♪

今日は、これで触りっこしません？

ええ、あなたさえ良ければ。

いつもみたいに、触ってください。

態々お越しいただいて、ふふふ…♪

おちんちん。そんなに大きくさせるほど期待して。

このまま何も無しなんて、失礼ですから。

あなたもそれを期待しているんでしょう？

ここだと邪魔者も入りませんから。

沢山、好きにできちゃいますよ。

…それじゃ、脱ぎますね。

※S E…衣擦れ

ん…。

どう、でしょうか？

可愛い？

でも：あなたも可愛いですよ？

だけどそんなんじや、本番の時ちよつと不安ですね。

緊張しすぎると立ちが悪くなると聞きますし…。

あ、そうだ。

ついでですし、そっちの練習しときましようか。

何って……えっちの練習？

 $\mathbb{S}^2$ 

さ、ベツドへ。

※  
S  
E  
..  
足音

$$\vdots$$

えいっ……！

※SE..ベツドのスプリング

押し倒しちゃいました…。

いや、引きずり込んだ、が正しいですね。

私が下で、あなたが上ですから。

んぎゅー。

※SE.. 肌がこすれる音

《キヌ》

ちゅ…ん…くちゅ…ちゅ…あ…ちゅ…ちゅう。

[illegible]

心臓、バクバクですね。  
ええ、分かりますよ。

《笑いながら》  
どうして謝るんです？

私の体に興奮してるから、そんなにドキドキしてるんですよ。  
なら…むしろ私が謝らなくちゃ。

申し訳ありません。  
お射精できないのに。  
こんなエッチな下着で誘惑してしまつて。

さ。  
練習、しましょう。

※S E…肌がこすれる音

ん…このまま腰を振ってください。  
ばん、ばんって。  
ふとももに腰を打ち付ける感じで。

※S E…セックス←

ん…。  
お上手。  
ちゃんとパンパン、出来てますね。

あむ…。

《キス》  
んっ…ちゅ…ん…ちゅ…くちゅ…んっ…ちゅうう…あう…ちゅう…はう…んっ…ちゅう。  
ん…あ。

《からかうように》

舌、入れてきましたね？

えっち。

《キス》

はむ…ん、んむ…ちゅ…んむっ…。

そうそう、その調子です。

ぱんぱん。ぱんぱん、って。

腰振り上手ですよ。

本当に童貞さんですか？

実は色んな女性とエッチしまくりだったり。

ふふっ…分かってます。

あなたは嘘つけない人ですから…。

ちゃんとイメージしてくださいね。

あなたのおちんちんを、私のおまんこに入れるところ。

愛液でぬるぬるしてるエッチな穴に。

ずーっとお預けされた限界おちんちん、押し付けて。

私がやめて、って言っても、止めちゃダメですよ？

パンパンして、射精して、それでも足りなかったらすぐに二回目をして。

終わるころには、私はおまんこも体も、あなたの精子でべたべたになっちゃうんでしょうね。

ああ…想像するだけで濡れてきてしまいます。

ねえ。

おまんこ、いじめて？

この間教えたみたいに…女性の上手ないかせ方。  
…練習、しましょう？



※SE…手マン←

あ、ん…あうう、ひや、あんっ…や、あ、あ…。

がつついてる…可愛い♡

でも、最初は焦らさなきゃ、ですよ？

脚を広げて…。

女の子が恥ずかしがっても、無理やり、でも優しく…。

\*\*\*\*\*囁き→\*\*\*\*\*

※SE…衣擦れ

ふふ…エッチな所、丸見えなっちゃいました。

※SE…手マン→

もう、手、止まってますよ？

あまり見ちゃ、だめ、です。

これでも一応、恥ずかしいのですから…。

※SE…衣擦れ

はう…んっ。

手つき、やらしい…。

太もも、すりすりして…。

ええ、そのまま、パンツも、撫でて…。

んっ、あ…ひや、あう…。

指先でぐりぐりよりかは。

手のひら全体で、撫でるように…。

そう…そんな感じ、です。

ん…あうう…ひや、あんっ、あ、んう…ひやう…。

そのまま、指を入れて、欲しい…。

※S E…水音

はう…！

あ、んっ…ひやっ…あ、んう…はう…ひやっ…あ、んう…あ、あ、んうう…や、あう…。

もつと、奥…。

※S E…挿入

あううう…！

んっ…あ…。

そのまま。

奥、ぐちゅぐちゅって。

※S E…水音

あ、ん…あうう、ひや、あんっ…や、あ、あ…。

んっ…はっ…はあ…く、ふ…はあ…んうう…。

ふふっ、上手、上手、です。

うん？ おっぱい？

勿論、いっぱい…なめて…。

んあっ…はっ…ひあ、ああっ…う、んんっ…。

そんな、吸われたら…！

あう…ひやっ…くふっ…う、んんんっ…ふはっ…あ、あ、あああ…。  
んっ…はっ…はあ…く、ふ…はあ…んうう…。

あ、だめ……！

腰、うごいちやう。

ひやう……んっ、あ、や、あ、あ、あ、あ、あ、あ。

だめだめ。

いつちやう、いつちやう…。

はっ…あ、あつ…んっ…く、ふっ…やあつ…あ…。

いく、いく、いく、いく。

いっ  
ちやう……！

《一瞬息を止めて》

$$\begin{array}{c} \vdots \\ \cup \\ \circ \end{array}$$

つ……あ、ん……あ……。

はあ、はあ。

すう、  
はあ。

すごい……。

あつさり…。

いかされちゃいましたね……。ふふ♪

ええ：おまんこ、負けちゃいました。

[illegible]

ねえ。

このまま、  
またして  
くれませんか？

今度はもっと激しく。

おまんこ、掻きまわして欲しいです。

※SE…挿入

ひゃう…。

※SE…手マン

んあっ…はっ…ひあ、ああっ…う、んんっ…。  
ひっ、あ、んう…あ、う…ひゃう。

※SE…衣擦れ

はむ…。

《キス》

ちゅうう…んっ…ちゅ…うう…ちゅ…あうう、ちゅ…んっ…くちゅ…ちゅ…んっ…くちゅ…。  
…。

すっかり、上手に、なっちゃいましたね。

本当…上達が早いですね。

教えたなら…んっ、教えた分だけ、ひゃう…吸収してくれて。  
私も、嬉しいです…。

ん…あ、んうう…。

ふふふ。

きつと、あなたとエッチする女性は皆、夢中になっちゃいます。

え？

好きなのは私、だけ？

他の人の所には…んっ、あ…行ったり、しない？

そう、ですか…。

《キス》

んふ…れる…ちゅ、んむ…んんっ…れろ…んんんっ…。

ねえ。

一つ、聞きたい事があるんですが…。

真美ちゃん、どう思います？

《一呼吸おいて》

ええ、今、です。

ん…今、聞きたいん、です。

どういう意味って…。

あう…んっ、女性と、して…んっ、魅力的かどうか。

つまり…。

セックス。

してみたいかどうか、って事です。

真美ちゃん、可愛いですよね？

…んっ、明るく、て、ひやう…優し、くて。

私よりも、おっぱい…んっ…大きいん、ですよ？

ウエストもほっそりしていて。

足も長くて。

それに…。

んう…はう…。

知って、ました？

真美ちゃん、あなたの事が好きなんです。

《一呼吸おいて》

《笑いながら》

嘘じゃないですよ。

あなたが、美術部に入ってから、んっ…あ、はう…あなたの話、よくするように、なりましたし。

それに…あなたといるときの、真美ちゃんの顔…あんっ…あ…ん…見て、れば。誰だって、わかり、ます。

《キス》

はむ…れろ…ちゅ、じゅる…っ…ふはあ。

ねえ…真美ちゃんとデート、してみませんか？

今度の日曜日、お買い物、行く約束をしているんですけど。

ひやう…あ…。

それを…あなたに…ん…代わって、ほしいんです。

ふふ。

難しい、お顔、してますね。

そんな…複雑に、考えなくて、んっ、あ…いいん、ですよ？

私はただ、好きな人、同士が…あんっ…仲良く、なったら。

嬉しいなって、そう思ってるだけ、なん、です。

あ、勿論。

真美ちゃんには…ひやう…私とあなたが、こういう事を、しているのは、内緒で。

ね？ 悪い話じゃ、ない、でしょ？ …ん。

あなたから、すれば…ふふふ、可愛いお友達が一人、増えるって事…ですし。

それに。

とっても仲良くなったら…。

三人で、エッチな事、しちゃったり。  
なんて。

あ…ちよ…そこ…激しっ…！

あ、んっ、や…ひやう…あ、あ。

だめ、いく…。

そこ、ああ…だめ、だめだめだめだめ。

あ、あ、あ、あ…！

※S E…手マン→

……………っ、あ…。

あ…ふふ…。

また、いっちゃいました…。

すごいですね、連続で二回も。

もう、女性の扱いは、問題なさそうですね。

《キス》

ちゅ…んっ…くちゅ…ちゅ…んっ…くちゅ…。

ありがとうございます。

とっても、気持ち良かったですよ。

あ…。よければこれ。

んしょ、と。

※S E…衣擦れ

ふふふ。

パンツです。

差し上げます。

まだオナニーは許可できませんが。

これを嗅ぎながら、ぜひ今日の事を思い出してください。

そ、し、て。

日曜日、真美ちゃんとのデート。

よろしくお願いします、ね？



・4 調教

《冒頭3秒沈黙》

《以下、指示部以外は真美》

※SE…街中←

あ…。

《焦ったように》

ご、ごめん、待った？

てか…早いね。

30分前だよ？

いや、まあ、私もそうだけどさ。  
何か、寝れなかったというか…。

あ！ いや、ちがくて！

なんか、目が覚めちゃって、休みの日はいつもそんなんだから！  
早く起きちゃう、というか、ホント、別、緊張してたとかじゃなくて  
それで。

《気まずい沈黙 3秒》

あはは…。

なんか変な感じだね。

いつも学校でしか会わないから。

《一呼吸おいて》

まったく、ハルちゃんも勝手だよね！

用事が出来たから代わりに君と行ってくれ、なんて。

その…迷惑じゃ、なかった？

《一呼吸おいて》

あ…へえ…そう。

楽しみ、だったんだ…。

じゃ、じゃあ仕方ないなあ！

今日は付き合ってあげましょうか！

…とか言ってみたり。

えへへ。

《一呼吸おいて》

《軽い咳払い》

んっ。

それじゃ…行こっか？

※SE…街中→

《5秒沈黙》

※SE…ショッピングモール←

クレープ屋「お待たせしましたー！ 抹茶クレープ二個でお待ちのお客様！」

あ、はい。

ありがとうございます。

え？ いいよいいよそんな。

これくらい奢らせて。

君のおかげで可愛い服も見つかったし。

はいどうぞ♪

《クレープを頬張る》

あむ、ん、はむ…。

んーめっちゃおいしい。

ちよっと一口食べてみて…って同じ味だった。

…残念。

え？ ううん、別に。

えへへ。

《クレープを頬張る》

あむ…ん、はむ、はむ…。

あ、そういえば…。

ちよーっと聞きたいなあって思ってたことがあって。

ん？ んー…。

ハルちゃんと君って、どんな関係かなって？

《一呼吸おいて》

あ…！ ちよ、大丈夫？ 気管入った？

ちよ、水、水…。

※SE…バッグを探る音。

はい、どうぞ。

※SE…ペットボトルの蓋を開ける。

…落ち着いた？

《笑いながら←》

てか…焦りすぎ。

何かやましい事があったり…。

《→》

嘘嘘、じょーだん。

《軽い感じで←》

いやでもさ。

実際…ハルちゃんってめっちゃ美人じゃん？

スタイルもいいし、頭いいし。

優しいしさ、いつも余裕あって、大人の女性、って感じだし…。

そんな人と、部活中ずっと二人だったら。

私なら、きっと好きになるんだろーなって。

思ったから。

《→》

《ちょっと真剣な感じで←》

それで…。

実際、どう？

《→》

《一呼吸おいて》

…ホント？

ただの先輩と後輩？

ふうん…。

※SE…電話

あ、電話？

うん、どうぞどうぞ。

《独り言 ぼそぼそ呟くように》

ただの先輩と後輩…ただの先輩と後輩…。

《春菜 電話 ←》

もしもし？

デート、楽しんでますか？

ふふふ、随分驚いてますね。

あ、真美ちゃんにばれないようお願いしますね？

男友達から、って事にしといてください。

あ、で。

お電話したのは、ちょっと、お渡ししたいものがあつて。

今、ショッピングモールですよね？

フードコートに座って、一緒に抹茶のクレープを食べてる…。  
でしょ？

そのすぐ隣に、車いす用のトイレがあるの、分かります？  
そこで待ってますから。

ノックを二回、続けてまた二回鳴らしてください。

あ、もし。

…あなたに限ってそんな事はないと思いますけど、もし来てくれなかったら。  
真美ちゃんに色んな事お話しますから♪

例えば…あなたが、今おちんちんに着けてる物の事、とか？

ふふふふ。

それじゃ。

お待ちしております。

《春菜 電話 →》

あ、電話終わった？  
誰から？

《→呼吸おいて》

友達？

…ああ、遊ぶうって？

あ、それは申し訳ない…。

お友達に謝っというて？

今日は私が予約してましたーって。

あ…ちよ、どうしたの一気にクレープ食べて。

またむせるよ？

トイレ？

あ、そういう事…。

うん、私ここで待ってるね。

行っってらっしやい。

《春菜 ←》

※S E…ノック2回+2回

※S E…鍵を開ける

※S E…ドアを開ける

こんにちは。

さ、早く中へ。

※SE…ドアを閉める

※SE…鍵を閉める

デート、楽しんでるみたいですね。

ええ、待ち合わせからずっと拝見しておりました。

あんなに楽しそうな真美ちゃん、久しぶりに見ました。  
私も楽しくなっちゃうくらい♪

そ、れ、で。

あなたに渡したいものなんです…。

※SE…バッグを探る音

これ。

何かわかります？

男性用のバイブ、なんです。

おちんちんに着けるものですよ。

※SE…バイブ

意外と静かですよね。

それが売りのバイブなんですよ。

なんでも、図書館で使ってもばれない静音性…とか。

え？

これをどうするか、ですか？

もう、そんな惚けちゃって。

こうするんですよ。

※SE…衣擦れ

ズボン、おろしちゃいますね。

そして…ふふふ。

貞操帯も、外します

※SE…鍵を外す音

どうです？ おちんちん自由になった感想は…って。

あら…あらあら。

ちよっと触っただけなのに、もう大きくなっちゃって。

ふふふ、我慢汁もだらだらじゃないですか。

《嗅ぐ》

すんすん。

匂いも…とっても濃いです。

これ、今溢れた、って訳じゃないですよね？

真美ちゃんとデートしている間、ずっと垂れ流していた…。

そうじゃないですか？

《一呼吸おいて》

あら、悪い子ですね♡

そんな子はお仕置きです。

※SE…手コキ←

ふふ、体ビクンってさせちゃって。

ゆっくり動かしてるだけなのに。

刺激、強すぎました？

それとも…射精できるかもって、期待してます？



ふふふ。

そんな訳ないじゃないですか♪

ええ、このバイブ、付けるためには勃起してないといけないので。  
あとヌルヌルの方がつけやすいですから…。  
もつと我慢汁垂れ流してください。

《一呼吸おいて》

ねえ。

真美ちゃん、どうですか？

今日の真美ちゃんとってもかわいいですよね？  
短いスカートで…。

あなたの好きなニーソックスも履いて。  
胸も、大きさがわかつちやうような服で。

あなた好みの女性に仕上がってますよね？

ずっと思ってたんじゃないですか？  
襲いたい、セックスしたいって。

※S E…電話

あら…。

ふふふ、噂をすれば…。  
真美ちゃんからです。

あ、声を上げちゃだめですよ。  
しー、です。

※S E…電子音

もしもし？

『あ、もしもし、ハルちゃん？』

『今大丈夫？ 何かしてた？』

今ですか？

そうですねえ…。

《二呼吸おいて 主人公をねっとり見つめる感じで》  
今、学校なんです。ほら、昨日言った、急に入った委員会の仕事。

『あ、ごめん、邪魔しちゃった？』

いえいえ、ちょうど休憩していたところなので。  
それで、どうしました？

今日は気になる彼とお出かけ、ですよ？

『ちよつともう、そんな言い方…！』

『そ、そもそもハルちゃんが押し付けたんだから…』

《笑いながら》

はいはい、そうですね。

彼は…どうしました？ 一緒じゃないんですか？

『あ、うん、今トイレ行ってるから』

《ねっとりとした感じで》

ああ…そうなんですか。

『あ、でね…なんか、電話したくなって…報告？ みたいな』

あらあら…どうですか？

楽しんでます？

『うん、その…もつときこちないかなあって思ってたんだけど』

『結構、楽しくて…』

『たぶん、向こうもそれなりに、楽しんでくれてるのかな？ って感じ』

ああ、良かった…。

上手くいってるみたいですね。

『うん…』

『ハルちゃんが色々アドバイスしてくれたおかげ』

『服とかも、普段着ないような奴だし』

いえいえ。

真美ちゃんのスタイルあつての物、ですよ。

『へへへ…まあ、ね。胸は、だいぶ強調されてるよね』

彼の視線も釘付け、ですか？

『うん…めっちゃ見てる、と思う』

あら…あらあら。

いけないですねえ。

折角の初デートなのに、エッチな目でばかり見てるのは。

『あ、いや、別にそれは良いんだ』

『いいんだっていうか、その…何て言うんだろう』

『その、こんな事言うのはめっちゃ恥ずかしいんだけど』

『結構、私もムラムラしちゃってると思う』

真美ちゃんか？

『やばいよね。付き合ってもないのに』

『なんか、エッチしたい、みたいな』

※S E…射精音

※S E…手コキ→

あ。

『え？』



そうなんです…！

ええ、とってもいいと思います。お二人はお似合いのカップルになりますよ。それに、彼もきつと真美ちゃんに好意を抱いています。

『そ、そう、かな…』

ええ、勿論。

『あはは…なんか、ハルちゃんにそう言つて貰えんとすごく勇気出る』  
『それじゃ、ちよつと頑張つてみようかな』

その意気ですよ。頑張ってください。

『ちなみに、さ』

『こ…告白つて、どういう所で…どのタイミングでしたらいいと思う？』

そうですね…。

やっぱり二人つきりになれる所じゃないと。

『そ、そうだね…』

『で、でも、そういう所つて近くあるかな』

ん…。

映画館、とかはどうでしょう？

『映画館？』

ほら、そこ映画館あるじゃないですか。

どれか、人気がない映画に入つて。

隅の方に座つて。

小声で告白する、とか。

『だ、大丈夫かな』

『その…もし断られたら、すつごく気まずいような…』

大丈夫ですよ。  
絶対。

断られたりなんか…ねえ？  
あるわけないじゃないですか。

『そ、そうかな…？』

はい♪  
なので、どうか頑張ってください。

『わ、分かった…』  
『頑張ってみるね』

はい♡  
頑張ってください。

あ、それじゃ、私はそろそろ休憩終わりなので。

『あ、うん！』  
『ありがとう、私、なんかできそうな気がする』  
『今日、人生初の彼氏ゲットしてくるから』

ふふふ。  
良い報告、お待ちしておりますね。

『うん！ ありがとう』  
『それじゃ、またね』

はいはい。  
それではまた。

※S E…電話を切る音

と、いう事で。  
真美ちゃんが告白しますから。

…って、あらら。

おちんちん。

我慢汁で大変なことになってますね。

力なんて全然入れてなかったのに…。

やっぱ何週間もオナニー我慢すると、おちんちんもガバガバになっちゃうんですね。

さて、と。

そろそろ、これ、付けましょうか。

※SE…バイブ

それにしても…さすがにこれはちよつと濡れすぎですね。

付けてもすぐに外れちゃうかも。

余分な我慢汁は…。

あーん。

《フェラ》

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれろ…。

《口に含んでいる風に…》

いいですか？

あなたはこれから、真美ちゃんに誘われて映画を見るんです。

端っこの席に座って。

真美ちゃんはきつとそわそわしちゃうって。

《→》

《フェラ》

んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…れろれろれろ…じゅるる。

ん…おちんちん、良い感じになりましたね。  
それじゃあ、つと…。

※S E…衣擦れ

ふふふ♡

随分可愛らしいですね。

おちんちんバイブ。

あ…分かっていると思いますが…。

※S E…バイブ

スイッチは、私が持っていますので。

あ…あとこの眼鏡もかけてください。

ええ…映画見るっていうタイミングで。

これ、マイクなんです。

あなたと真美ちゃんの会話が聞けますし。  
私の声があなたに届くようになります。

必ず、かけててください。

さて。

準備OKです。

《一呼吸おいて》

え？

どうしてこんなことするか…ですか？

ふっ…ふふふふふ。



良いじゃないですかそんなの。  
みんなが幸せになれるんですよ？

ほら。

真美ちゃんは、あなたと恋人になれる。

あなたは、真美ちゃんと私、どちらともエッチな事が出来る。  
私は…。

《闇のある感じに微笑む》

ふふっ。

私は、私の好きな人が幸せになる。

ただそれだけです。



んっ。

今日、どうしても君に言いたい事があつて。

その。

ん…。

あの。

入学…した、時から…。

というか…。

同じクラスになった時、から？

気になってた、みたいな…。

き、君の事…。

《一呼吸おいて》

《言い訳するように←》

いや、その、ね。

クラスで最初見た時から、な、なんか、いいなあつて。

なんか…うん。

そう思つて、て…。

あ、でも、その時はそんな深く考えてなかったっていうか。

普通に、あの人いいなつて感じで。

ただ、それだけで。

《→》

そ、それでね？

ほら。

私、ハルちゃんと仲良いじゃん？

だから、一緒に帰ろうとか思つて、美術部、覗いた時あつて。

それで。

君がさ、絵描いている所見て。  
なんか、すごい真剣、で。

私、絵とか全然分かんないけどさ。

デッサン？　なんか、上手だなんて思うし。

それに…。

真剣な君を見た時に、さ。

いいなあ、じゃなくて。

すごい…かっこいいって。

そう思つて。

《一呼吸置いて》

それでさ。

《一呼吸置いて》

気づいたら目で追いかけてて。

どんな人かなって気になって。

私、これでも結構人見知りだから。

自分から話しかけるとかあんまりしないんだけど。

君には、頑張つて話しかけて。

それで…。

ちよつとは、お話し、できる間になつて…。

なつた、よね？

《一呼吸おいて》

《軽く笑いながら》  
良かった。

それで…。

その…だから、ね？

《小さく咳払い》  
んっ。

つまり。

き、君の事が…。

《3秒沈黙》

《消え入るように←》

す…好き…。  
です。

《→》

君が、好き。

だから、その…。  
わ、私と。

付き合ってくれたら。  
嬉しい…。

なんて…。

《5秒沈黙》

ほ、ほんと？

ほんとにほんと？

付き合って…くれるの？

《3秒沈黙》

う、うん！ いや、そんな…。  
こ、こちらこそ。

えっと。

私、こんなんだけど。  
その。

よろしく…お願い、します。

《3秒沈黙》

えへへへ。

《一呼吸おいて》

いや、なんかやばいね。

うん、やばい。めっちゃやばい。  
すごい、なんか、嬉しい。

あーやば。

冗談、とかじゃないよね？  
やっぱ無し…は、だめだよ？

《幸せそうに》

…うん。

あー…。

ホント幸せ。

《ぼつりと》

ハルちゃんにお礼言わなきゃ…。

あ、いや、ね。

ハルちゃんに色々相談してて。

今日も…映画館で告白したら？　ってアドバイスしてくれたのもハルちゃんです。

ていうか、正直、君はハルちゃんの事が好きかもって思ってた。  
ハルちゃんにはさ、そんな事ないって言うけど。

ハルちゃん、美人さんだし。

あんな人が隣にいたら、誰だって気になっちゃうでしょ。

いやでも…。

あー、マジか…まじかあ…。

ふふふ。

《3秒沈黙》

あ、えつと。

その、もしよかったら…。

手…とか…。

繋いだりしない？

あ、調子乗りすぎかな？

いや、まあ、恋人だし…。

それくらいは、いいかなって。

《一呼吸おいて》

うん…！

あ、ちよつとまってね。

手汗、やばくて。

《一呼吸おいて》

はい。

じゃ…。

どうぞ。

《一呼吸おいて》

《笑いながら》

ちよつと、もう。

君の方が手汗やばいじゃん。  
あっつい。

緊張…してたの？

《一呼吸おいて》

《嬉しそうに》

ふーん。

そっかそっか

《→》

あ、ううん、いいの。

このまま。

むしろもつとぎゅつとしてほしーなーって。

ん…。

なんか、私も、体めっちゃ熱くなってきた。

君の手、結構大きいね。

男の子って感じ。

ふっ…ふふふふ。



あーやばい。

今、すごい幸せ。

これから…よろしくね。

彼氏君♡

《冒頭3秒沈黙》

《耳舐め》

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれろ…。  
ちゅ…あん…む…ちゅ…あむ…んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…あ  
ん。

あ、ほら。

始まりましたよ、真美ちゃんの告白。

ちゃんと聞いてください。

真美ちゃん、どう伝えたらいいか、ずっと悩んでたんですから。

私相手に告白の練習もしてたんですよ？

本当に健気ですよね。

《耳舐め》

んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…れろれろれろ…じゅる  
る。

あん…れろ…んっ…ちゅ…くちゅ…れろれろ…んはあ…ちゅう…れろ…ん…あむ…あん。

※SE…バイブ←

あ、こら。

ダメですよ。

おちんちん刺激されても、ちゃんと我慢しないと。

声も、射精も。

ふふふふ。

まあ、でも。

真美ちゃんは気づいてないみたいですネ。

けど…思いもよらないでしょうね。

まさか告白している相手が。

おちんちんにバイブ付けて…。

し、か、も。

マイク越しの耳舐めで、よがってるなんて。

《耳舐め》

はあ…ん…くちゅ…あむ…れろれろ…んう…ん…れろれろれろ…あむ…んはあ…じゆるる。  
れろれろれろ…くちゅ…んうう…あむ…はあ、あむ…ちゅ…ん、れろれろ…くちゅ…れろ、  
ん、ちゅ…。

ねえ。

真美ちゃんの服、ちゃんと見てあげてください。

ブラウスも、短いスカートも、ニーソックスも。

全部、私がアドバイスしたんです。

あなたは、こういうあざと可愛い服が好きだから、って。

そうでしょう？

大好きですもんね。

むちむちってした、女の子。

セックス、したいですよね？

ほら、あのブラウスを盛り上げるおっぱい。

よく見たら下着が透けてるかもしれませんよ？

今日の真美ちゃんの下着はピンクらしいですよ。

勝負下着、ですって。

ふふふふ。

本当に残念ですねえ。

エッチな下着をつけた、可愛くておっぱいが大きい。

あなたの事がだーい好きな女の子と。

セックス。

出来たかもしれないのに。

《耳舐め》

れろれろ…あむ…んっ…じゅるる…れろれろれろ…あん…くちゅ…じゅるる。

ねえ、知ってます？

真美ちゃんって実はとてもエッチな子なんです。

週に何度もオナニーしちゃって、たまに私の部屋まで声が漏れてきちゃって。

好みのタイプは、細身で、優しくて、何かに一生懸命になれる人、って言っていました。  
ふふふ…まさにあなたみたいな人ですね。

昨日も声、漏れてたんです。

夜に…あん、あんっ、って。

きつと、あなたの事想像してオナニーしてたんでしょうね。

もしかしたら、布団にシミが残ってるかも。

行ってみます？

今日。

真美ちゃんの部屋。

いいんですよ？ 行っても。

むしろ、私的にはぜひ行ってみてほしいです。

まあ、でも…。

もしエッチしようと服を脱いだら…。

おちんちんにバイブつけた姿、見られるわけですけど。

ちなみに…もしバイブを外したら。

全部、真美ちゃんにばらしますから。

《耳舐め》

ん…くちゅ…れろ…あむ…れろ…あ…れろ…ん、あむ…れろれろれろ…ん…ちゅ…あ…ん…れろ。

ん…。

真美ちゃん、ちゃんと告白できましたね。

ほら、あなたの番ですよ。

「こちらこそよろしくおねがいします」  
って。

ほら。

早く、言ってください。

《耳舐め》

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれろ…。  
ちゅ…あん…む…ちゅ…あむ…んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…あん。

はい♪

大変よくできました。

ご褒美に…。

バイブ、強くしてあげますね。

あ、でもあまり強くしすぎて射精されても困りますし。  
入れたり切ったり。

休みながらいきましようか。

※SE…バイブ強←

ふふふ。

気持ちいい？  
いきそう？

しごいてないのに。  
バイブの刺激だけで。

ああ…私もそこにいたいです。  
真美ちゃんの幸せそうな顔と。  
あなたの射精を我慢しているすました顔。

とっても見たかった。

今度は観察できるような形にしましょうか。  
真美ちゃんのお部屋にカメラを仕掛ける、とか。  
そしたら、あなたと真美ちゃんが二人でラブラブしてるところ。  
じっくり、見れますもんね。

ああ…想像しただけでドキドキします。  
真美ちゃんが気持ちよさそうによがるころも。  
あなたが理性を捨てて腰を振るところも。

見たくて見たくてたまらない。

《耳舐め》

あん…れろ…んっ…ちゅ…くちゅ…れろれろ…んはあ…ちゅう…れろ…ん…あむ…あん。

※SE…水音←

んっ…あう…ん…あうう…ひゃ、あんっ、あ、んう…ひゃう…。

聞こえ、ますか？  
今、自分でおまんこくちゅくちゅしてるんです。

乳首も…あんっ…一人でこりこりして。  
あなたと真美ちゃんのエッチ、想像しながら。

ひゃっ…あんっ、あう…あ、あ、んうう…あんっ、あ。

指じゃ、物足りないです。

あなたの大きなおちんちん、入れてほしい…！

犬みたいによだれ垂らして、腰ふって。

何にも考えずに中出しして。

ね？ あなたも、そうしたいでしょ？

出来る事なら…真美ちゃんと一緒に犯してもらいたいです。

裸の私と、真美ちゃん。

二人ベッドに並んで、あなたがおちんちんを入れやすいように脚広げて…。

最初は真美ちゃん？ それとも私？

好きな方に入れていいんですよ。

ぱんぱんって、腰振って。

射精して。

そしたらすぐにもう一つの穴に。

私は真美ちゃんの喘ぎ顔を見て、真美ちゃんも私のみつともない顔見て。

ああ毎日三人でそんなセックスできたら。

どれだけ幸せか。

んあ…はっ…はあ…はううつ…んっ…んふっ…ふっ…ううつ…。

だめ、いく、いっちやう。

ん、あう…うう…あんっ…ん…あっあっあっあっ…いい…あううう…や…ん…あんっ…。

いくううう…！

…っ！

《一呼吸置いて》

はあ、はあ…。  
いっちゃった…。

《一呼吸置いて》

あ…。

すみません、止めるの忘れてました。

※S E…バイブ→

射精、してないですか？

映画が終わったら、またトレイに来てください。

ちゃんとおもらししてないか、チェックするので。

ふふふ。

では。

続き、楽しんでください。



《冒頭3秒沈黙》

※SE…扉を開く音

あら、ダメじゃないですか、部活に遅れちゃ。  
最近ちよつと遅刻気味ですよ。

まあ…でも。

あんなに可愛い彼女ができたんじゃ、無理もないですけど。

あ、真美ちゃんから聞きましたよ。

昨日、初めてキスしたって。

やるじゃないですか。

付き合ってまだ二週間なのに。

正直、もっと時間がかかるかと思ってました。

この調子だったら、初エッチもすぐですね。

でも…。

昨日の夕方にキス、ですよね。

それって、美術室で私のおまんこを舐めた後に、キスしたって事ですか？

だめですよお、もう。

大事な彼女さんなんですから。

初キスの前くらい、他の女の事なんて忘れないと。

え？

なんです？

ああ！ そうでした、今日が約束の日ですね。

一か月、よく我慢出来ました。

偉い偉い、です。

それじゃ、セックス。  
しましうか。

ええ…。

では…準備室、行きましょう。

《3秒沈黙》

※SE…扉を閉める

あ。

セックス、する前に…。

この間教えた事を覚えてるか、テストしていいですか？

ふふふ。

それじゃ。

ちんちん。

してみてください。

※SE…衣擦れ

あら、ちゃんと覚えてましたね。

裸になつてしゃがんで…。

でも…足の開きが足りなくないですか？

もつとおちんちんを見せつけるように…ね！

※SE…叩く音

あら？

舐けして貰ったら何を言うんですたっけ？

《一呼吸おいて》

そうそう。

『ありがとうございます』ですよね？

ん？

どうしてそんな切なそうな顔してるんです？

あなたも同意しましたよね？

私の言いなりになります、って。

あ、もしかして…切なそうな顔してるのは、命令が足りないから、でしょうか。もっと私の言いなりになりたい、ですよ？

それなら次は…。

服従のポーズ♡

※SE…衣擦れ

ふふふ、ちゃんと脚大きく広げられましたね。

仰向けでゴローンして、足も手もワンちゃんみたいに曲げて…。

人としての尊厳は全部捨てなきゃだめですよ？  
分かりましたか？

よしよしー。

すっかり変態さんになりましたね。

良い子良い子。

それにしても…せっかく可愛い彼女が出来たのに。  
こんな事しちゃって。

でも…仕方ないですよ。

すぐ隣に可愛くておっぱいが大きい、いつでもエッチしてくれる女の子がいるのに。  
貞操帯のせいでできませんでしたもんね。

あなたは、私で発散するしかないですから。

だから、あなたは何も悪くないんですよ？  
なんにも。

ただただ、正直になっただけ。

欲望、に。

でも…。

予定より早くてよかったです。

もつとゆっくり焦らしていかないと、って思っていましたから。

《一呼吸おいて》

はい？

《笑いながら》

ああ…いえ。

つまり。

私は、あなたをペットにするつもりだった、って事です。

《一呼吸おいて》

ふふふ。

ぽかんとした顔してる。

もしかして、私がただ思い付きで射精管理したり、真美ちゃんとかつくつくようにしたと、  
思ってるんですか？

あなたって…本当…。

純粋な方ですね♡

さ。

久しぶりのおちんちん、どんな感じになってるでしょうか…。

※SE…金属音

あらあら…まあ。

我慢汁でべっとり。

それに…外しただけでむくむく…って大きくなって。

すごい。

これが今から私の中に入るんですね。

※SE…手コキ←

こら、脚閉じちゃダメですよ。

まだ服従のポーズです。

ずっと…ずっと。

《キス》

んふ…れる…ちゅ、んむ…んんっ…れろ…んんんっ…。

ねえ…。

私はですね。

あなたを飼育したいんです。

そう。

し、い、く。

昔、グッピー飼ってたんです。

誕生日に買ってもらって。

とても嬉しくて、毎日世話をして、餌を与えて。

でもある時ふと思ったんです。

私が世話をしなくなったらどうなるんだろう、って。

で、実際やってみました。

餌もやらず、水も変えず。

そしたら、みるみるうちに元気がなくなっていくて。  
隅っこにじっと縮こまるようになって。

それで…あつという間に死んじゃいました。

その時、心底思ったんです。

ああ…愛おしいって。

だって、私の気分一つでその子はもっと長く生きられたし、もっと早く死ぬ事もあったんですよ？

私の手のひらにある、唯一無二の命が、愛おしくない訳がありません。

それから…ずっと思っていました。

同じ事を、人に出来ないかって。

別に命が奪いたわけじゃないんです。

ただ、私の言いなりになる…従順なペットが欲しかった。

けど、どうしていいのか分からないまま時間が過ぎて。

そして、あなたが入部してくれました。

ふふっ。

私のスク水を嗅いで、オナニーしているあなたを見た時。  
思ったんです。

見つけた。

私の理想の人だ、って

あなたの変態オナニーを見てからずっと。

どうやったら私の物に出来るか。

ペットにできるか。

そればかり、考えていました。

ただ付き合うだけじゃダメなんです。

だって…恋心なんていつか消えてしまいますから。

たとえばあなたが私に夢中で、何でも言う事聞いてくれたとしても。

あなたが飽きてしまったらそれでおしまい。

あなたをゲージに入れたり鎖につないだり…そうやって身体的に拘束するわけにはいきませんから。

心を支配する方法をずっと考えていました。

そんな時に真美ちゃんがあなたに好意を抱いていると知って…。  
思っただけです。

餌を与えればいいんだ、って。

最初は真美ちゃん。

そして、これから先…もし真美ちゃんに飽きてしまっても。

またあなたには、次の子をあてがってあげます。

そして、あなたが逃げだして、誰かに告げ口したら。

私はいくらなんでも。

二人っきりの部活で襲われたんです、って。

それから彼の要求に逆らえなくて、女の子も用意して。

もちろんあなたは反論するでしょうけど…大人はどっちを信じるでしょう？

いたいけな女の子と、性欲にまみれた男の子の言い分。

私、結構嘘は得意なんです。

隠し事も。

知ってました？

…知ってますよね。

ふふふふふ。

まあでも、そんなのはいらない心配、ですよ。

だって…この状況、あなたは幸せでしょう？

真美ちゃんとも私とも、セックスできて、真美ちゃんに飽きても次の子があてがわれて、あ、そうだ。もう少し、時間が経ったら、三人でセックスしましょう。

大丈夫、私ならいい感じに言い繕えます。  
良かったですねえ、可愛い女の子と3P。  
男の子の夢、でしょ？

って、あらあら…。

おちんちん、パンパンですね。

こんな立派な物見せつけられたら…。  
我慢できなくなるじゃないですか。

制服。

脱ぎますね。

※SE…衣擦れ

《一呼吸置いて》

あらどうしました？

一緒に…初エッチの服選んだの忘れてました？

どうでしょう。

似合ってます？

スク水。

それじゃ…。もう一度。

ちんちん。

してください。

※SE…衣擦れ

そう…そのまま。

ちんちんのポーズで、私を見てて。

ほら、机の上に座って。

足も開いちゃいます。

それで、股の所をずらして…。



※S E…衣擦れ

ああ…やだ。

おまんこ、こんなにヌルヌル。

ほら、ここですよ。

一カ月我慢できたご褒美♡

この穴に、入れていいんです。

勿論、ゴムなんていりません。

そのまま…おちんちん挿入して。

中出し、するんです。

分かりましたか？

それじゃあ…。

命令。

お、ま、ん、こ。

しなさい。

※S E…衣擦れ

※S E…挿入

きや…！

んっんっ…あっ…ひやう…んっ、あうう…いい…んっあっあっあっ…んううう、あうう。

はげ、しい…！

ん、あう…うう…あんっ…ん…あっあっあっあっ…いい…あううう…や…ん…あんっ…。

ああ…いい…。

動物、みたいに、ぱんっ、ぱん、って…。

ほら、何を我慢してるんですか？  
早く、出しちゃいなさい。

一カ月もため込んだおちんちんが。  
そんなに我慢できる訳、ないでしょ？

※S E…セックス→

※S E…射精

ひやつ、あ、んう…。

ああ…どくどく、いつてる…。

ん、あ。

あつつい…。

すごい…まだ出てる…。

私の中に、濃い精子が注ぎ込まれて。

ああ…いい…。

最高。

…ふふふ。

命令。

二回目、しなさい。

※S E…セックス←

あつ…んう…あ…やつ…んう…あんっ…くうう…あう…んっ…うう…あう…んっ…やつ。

やっぱり…一回いったのに、全然、小さくならない。

むしろ、大きくなってる…！

ふふふ。

童貞おちんちんだったくせに。

やみつきになって。

可愛い♡

んふっ…ふー…ふあっ…あ、はっ…にやつ…はっ…あ、あっ…んっ…く、ふっ…やあっ…

あ…。

ほら、いっていって。  
何回でも中出し、して。  
もっともっと腰振って。

あなたの目の前に今いるのは、ご主人様でも、彼女の親友でもなくて。  
ただの、メス穴。  
そうですね？

はあ…はあっ…んっ…はあっ…あ、んふううう…んあっ…はっ…ひあ、ああっ…う、ん  
っ…。

いく？ いっちゃう？ 二回目？  
いいですよ…いって…！

※S E…セックス→

※S E…射精

ひやつ、あう…！  
っ…あ、ん…あ…。

二回目も、すごい…。  
大量…。

※S E…セックス←

あ、あ、すご。

出しながら、腰振ってる…！

あっ…んう…あ…やつ…んう…あんっ…くうう…あう…んっ…うう…あう…んっ…やつ。  
んっんっ…あっ…ひやう…んっ、あうう…いい…んっあっあっあっ…んううう、あうう。

《キス》

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…。

もつと…。

キス。

ちゅー。

《キス》

あむ…くちゅ…んっ、れろ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれろ…。

あ、またおちんちん、びくびく…。

チューしたら、精子たまった？

エッチ。

変態。

※SE…射精

あ、んう…。

だめ、止めちや。

まだ…まだまだまだ…。

全部、出きって…！

空っぽになっても、腰振って…。

あなたなら、出来るでしょ？

…いいえ。

しなさい…！

命令…！

あっあっんう…やっあっ…うううあんっ…や…ううあっあっあっあっ…ううう…。

《キス》

はあ…ん…ちゅ…くちゅ…うん…あん…ちゅ、あむ…んっ…はうう…ちゅ…ふう…んうう…。

\*\*\*\*\*囁き\*\*\*\*\*

いい…！

これが欲しかったの…！

私の命令通りに。

腰を振るオスが。

ああ…素敵。

最高。

ようやく手に入った。

私だけの、ペット。

ねえ。

これで終わりだなんて、思わないでね。

これから先、ずっと。

私の命令は、絶対。

私のおまんこが。

あなたの帰ってくる所。

他の女をどれだけ好きになっても。

最後はここで、射精するの。

分かった？

あっ…んう…あ…やつ…んう…あんっ…くうう…あう…んっ…うう…あう…んっ…やつ。

ふっ、ふふふふふ。

それじゃ、もつと腰。

振りなさい。

んああっ…ひゃ、ああ、ああああっ、くふっ…はあっ…はあ…んっ…はっ…はあ…く、ふ…はあ…んうう…はあ…はあっ…んっ…はあっ…あ、んふううう…。

最高…最高最高。  
幸せ。

愛してるわ。  
ペット君♡

・8 後日

《冒頭3秒沈黙》

《以下全部真美》

あ、もしもし？

ごめんねこんな時間に。

ううん、何となく…声、聴きたくなつて。

…？

なんか運動してた？

いや、何となく、息荒いなあと思つて。

腹筋？

いつもしてるの？

へえ…そうなんだ…。

じゃあ今度お腹見せてもらおうかな。

なんて…。

へへへ。

でもダメだよ。もう遅いんだから。

明日も学校なんだし。

うん…。

あ。

ん？

あれ…。

あ、ごめん、なんでもない。

いや、ハルちゃんの部屋から今一瞬変な音聞こえて…。

電話からも聞こえた気がしたからどっちだろうって。

ごめんごめん、気のせいだと思う。

《一呼吸おいて》

ねえ？

今度さ、二人でプチ旅行行かない？

再来週の三連休。

どっか、海とか。

夜はさ…その。

カラオケとか、泊まったり。

《笑いながら》

うん、年ごまかして。

なんだったらさ…。

安いホテルとかでも…全然。

…。



な、なんてね。

まあ、とにかく、さ。

ずうっと一緒にいようよ。

ね？

《呼吸おいて》

へへへ。

やった。

ねえ、まだ腹筋してる？

いや、たまに声遠くなるし。

息荒いし。

それに…ちょっとエッチな感じ。

へへへ。

ううん、いいの、そのまま聞かせて？

うん、このまま寝落ちしたい。

君の声聞きながら。

…うん。

ありがと♡

じゃ、お休み…。

あ。

ねえねえ。

大好き♡

だよ。

《呼吸おいて》

へへへ。

幸せ。